

THE KOBECOCO

AUGUST No.340

1989 8 月刊 神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
1989年8月1日印刷 通巻340号 1989年8月1日発行
毎月1回1日発行



Elegant Life From Beniya

エレガントに、誕生!
BENIYAメンバーズカード。Plus JCB card

うれしい特典いっぱい。いま、会員募集中!!

ときには優雅に、ときには知的に、
現代をさらめいて生きる女性たちのために……。
ファッションナブルライフを演出する、
BENIYAメンバーズカードが華やかにデビューしました。

※詳しくはベニヤ各店にお問い合わせください。



 **BENIYA**
KOBE OSAKA TOKYO

- KOBE ●本店 三宮センター街 ☎078(332)2135-6 エルベ店 センターフラサIF ☎078(332)2829 ウィンク店 三宮センター街 ☎078(332)0780-0788
さんちか店 さんちかローサアベニュー ☎078(321)2678-9 シャコック店 三宮本通り ☎078(332)4858
イヴ・サンローラン店 神戸そごう本館4F ☎078(261)2922
- OSAKA ●三番街店 阪急三番街 ☎06(374)0137 ナビオ店 NAVIO阪急3F ☎06(316)1303-4 ミナミ店 虹の街5-3号 ☎06(213)6128
近鉄店 上本町近鉄百貨店4F ☎06(773)1117
- TOKYO ●銀座店 ニューメルサIF ☎03(574)8012 銀座エルベ店 銀座メルサIF ☎03(564)5625 自由ヶ丘店 ニューメルサ自由ヶ丘1F ☎03(724)8888
日比谷店 日比谷サンデIF ☎03(501)1871



ベルギーから来日したVERBEKEさん一家
左より Paul, Guy, MIEKE, DANIELLE

ハイジの夏が
やって来た!

1989

SOMMER
ゾンマー



スイス菓子

ハイジ

本店 神戸市灘区水道筋6丁目
TEL (078)801-4466

帰省のおみやげにいかがですか
"パンホフ・シュトラッセ" ¥1,000, ¥2,000

夢をカタチに

アートバンクは、お店づくりのトータルデザインオフィスです。

PARISで、NEW YORKで、TOKYOで、
さまざまな仕事を手かけたスタッフが
お店のイメージづくりを
トータルにお手伝いいたします。

企画

市場調査・コンセプトメイキング

ベーシックエレメント開発

ネーミング・マーク・ロゴタイプ・カラーシステム・キャラクターetc.

店舗デザイン

エクステリア・インテリア・サイン・ディスプレイetc.

店舗設計・施工

監理・設備・申請手続etc.

アイテム別アプリケーションデザイン

ユニフォーム・パッケージ・ショッピングバッグ・包装紙・レターヘッドetc.

広告

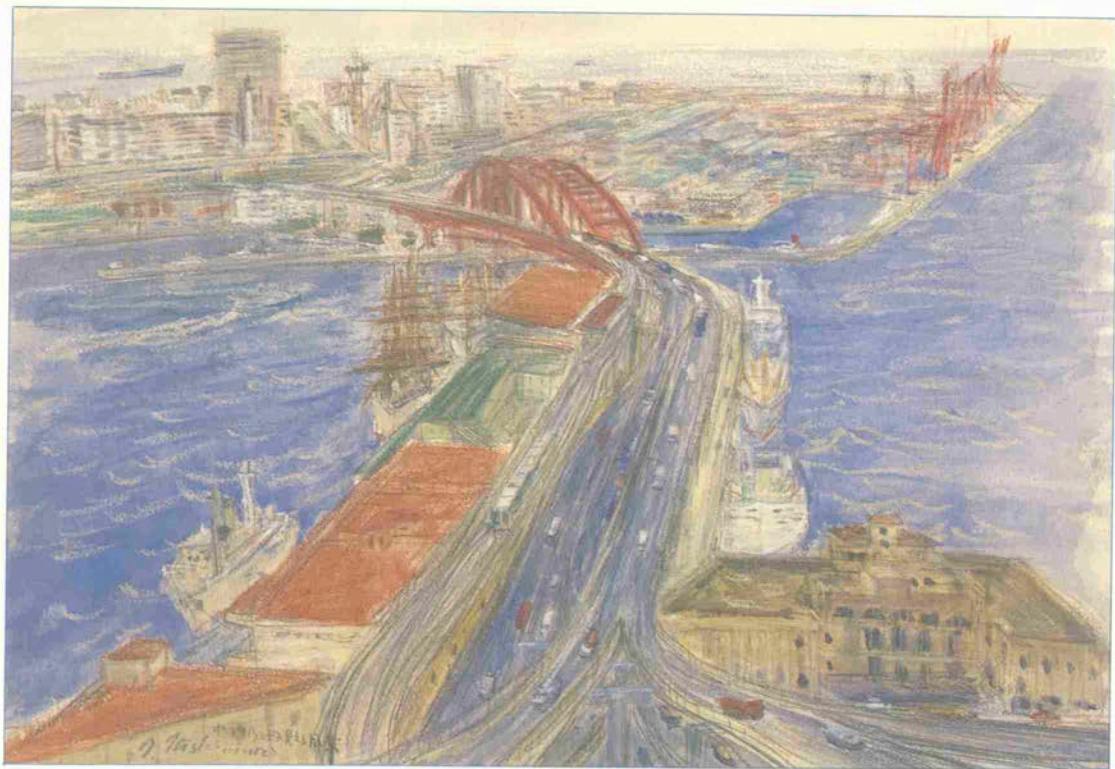
新聞・雑誌・TV・ラジオ・DM・ポスター・POP・チラシ・屋外広告etc.

ご連絡をいただければ、随時弊社の資料をお持ちします。お気軽にご相談ください。

Design Office
Artbank

650 神戸市中央区山本通2-14-26, クラタ11号館4-C Telephone(078)242-6111

Second Cover ● ハイカラのある街 (5)



ポートアイランドの見える風景(1989年) 絵 / 西村 功

※ 「ハイカラのある街・西村功神戸を描く」
神戸のエキゾティズムを描いた西村功先生の最新作12点が北野町の「ギャラリーWhite House」にて9/26まで特別展示されています。

アンコール公演

10/6(金)~10(火)

前売開始

8/26(土)より全席指定4,500円
(消費税込み)

宝塚バウホール

宝塚ファミリーランド内宝塚バウホール公演/
宝塚市栄町1-1-57平みちリサイタル

構成・演出・振付/司 このみ

平みちリサイタル

BETWEEN

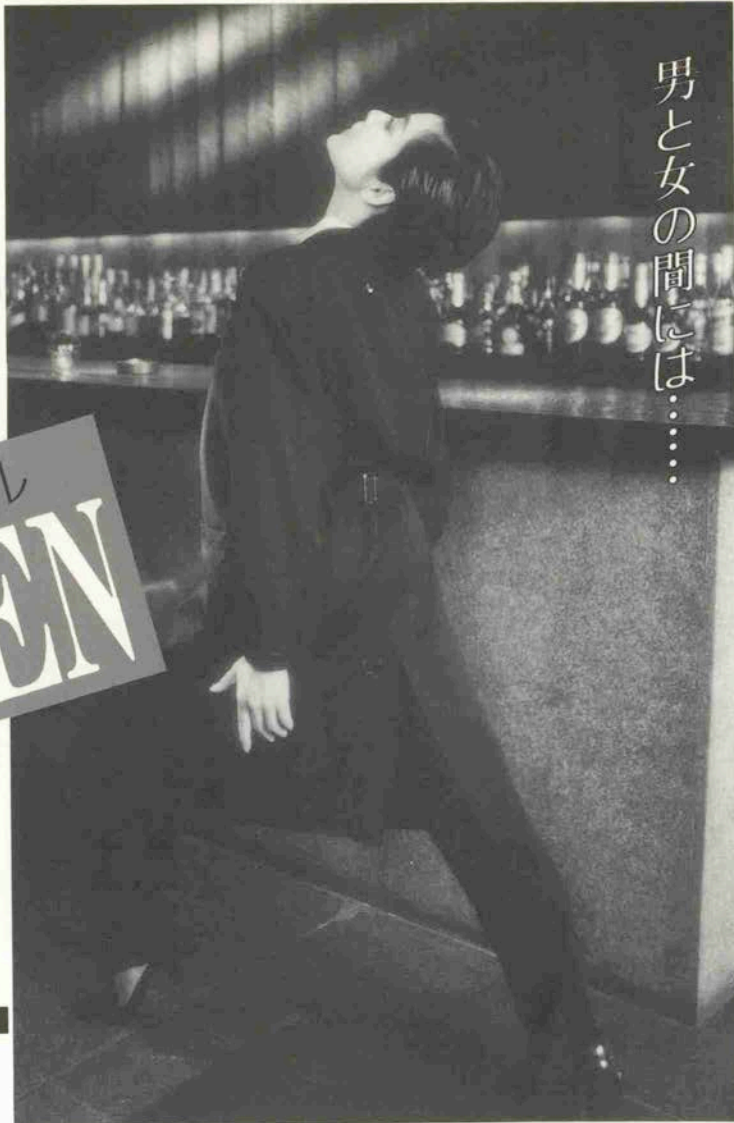
●前売所●

博品館1F TICKET PARK.....03(571)1003
チケットピア.....06(363)9999
チケットセゾン.....06(308)9999
関西プレイガイド協会.....06(346)0571
プレイガイド21.....06(251)9999

10/6	金	18:00	
7	土	11:00	14:30
8	日	11:00	14:30
9	月		14:30
10	火	11:00	14:30

お問い合わせ・電話予約

オフィス平
03-435-7246



男と女の間に……

kansin street gallery <7>



生田新道に面したストリートギャラリー

●関西信用金庫が“かんしん”として新しく生まれ変わりました。新しい“かんしん”は、共感・対話・信頼という3つの企業理念を支えとして、地域文化の育成にも力を尽くしていきたいと考えています。

この企画は、神戸で活躍する才能豊かな新鋭アーティストを本誌上、そして当庫新本店ビル1階に完成した“かんしんストリートギャラリー”にて紹介してゆくものです。



“Thou art the sky...”—1988 75×30×25

中川佳宣 <造型作家>

なかがわ・よしのぶ、1964年生まれ。植物をモチーフに再生紙を利用、染料、顔料といった素材をおりませ独自の世界を構築する。「花が開き、実を結んでいく」というような時間を把握した形が好き」だと語る。



関西信用金庫

神戸市中央区下山手通2丁目12-3 〒650
PHONE (078) 332-5151 TEL/Fax (078) 333-9874

波雲の
美し。



Tajima
宝飾店 タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表

フルートの音色と共に——桜井良子

ラルーティスト・カメラ・池田年夫

子供の頃は消極的で、友達と遊ぶことも拒んできた彼女も、中学生から始めたフルートが彼女の世界を、がらりと変えてしまった。今時の若い女性だからこそか、初めての演奏会で、舞台上上がって、ライトの光を浴びた瞬間から気が動転して、フルートを吹くことは出来ないと想像していたのと裏腹に、気持ち良い「ゾクゾク・ワクワク」する武者震いを感じ、「この刺激が何ともたまらなく。」8年間、人前に立ち、人の視線で、自分とフルートの音色に磨きをかけている。大阪音大を卒業後、現在、山腰先生の門下生として、演奏会で活躍する一方、後身の育成にも努力をかたむけている。新神戸オリエンタルホテルでの金・土・日の夕方から行われている、ロビーコンサートで、かたいイメージのある、クラシックの曲をフルートのソフトイメージと結びつけた、ちよっとお洒落な曲をホテルのお客に聞かせている。夢を聞けば「普通のお嬢さん」らしく、オランダのチューリップ畑の中、ギリシャの神殿といった、メルヘンのある場所でフルートの演奏をしてみたいと本音を聞かせてくれた。ふだんは、愛車で大好きな海までドライブしたり、テニスやゴルフをプレイするギャル、これからも活動範囲を広げて羽ばたいてもらいたいもの。

(新神戸オリエンタルホテルにて)



第13回

ローズガーデン美術公募展



1989年10月29日(日) ▶ 11月5日(日)

11:00AM~6:00PM 11月5日は5:00PM迄

会場

JUST HAVE A LOVELY TIME
Rose Garden

KOBE HITANO UMIKAN DOJO

テーマ/無題

撤入日/10月15日(日) 11:00AM~7:00PM

出品料 1点3000円

選外搬出/10月22日(日) 11:00AM~7:00PM

表彰式/10月29日(日) 12:00~

審査員/赤根 和生 伊藤 誠 泉 茂

小泉 美喜子 佐藤 廉 西村 功

増田 正和 元永 定正 弓倉 恒男

(アフィリエイト)

ローズガーデン大賞.....賞金20万円

奨励賞 北野商業連合会.....賞金5万円

佳作 2点(財)神戸市民文化振興財団賞.....賞金3万円

元町画廊賞 神戸っ子賞

主催 ローズガーデン美術公募展実行委員会

協賛 (財)神戸市民文化振興財団 元町画廊

北野商業連合会(KAM) 月刊神戸っ子

事務局 ガラリードラベ Call078(222)1518

神戸市中央区山本通2-8-15

同時開催

ローズガーデン美術公募展
受賞者展

1989年11月1日(水)▶11月12日(日)

会場 画廊ポルティコ

三宮よりポートライナー乗車、市民広場下車

自由奔放に描いて生きて

坂本吉章

〔洋画家〕

カメラ・池田年夫

日本を代表する画家を多く輩出している兵庫高校、坂本さんもその兵庫高校の出身。美術部が大変優秀なのだろうか？「いやー、私は美術部ではなかったんですけど」とのこと、それどころか小学校4年〜高校を卒業するまで、全く絵筆をとっていない。浪人中に本格的に描き始めたが、まもなく壁に突き当たる。「観念ばかり先行して、筆の方が進まなくなってしまうとね」と当時を振り返る。そのこともあって友人達との酒席で、フランス行きを宣言。72年に渡仏。2年後やっと生活も落ち着き、絵筆をとった時に「見たままをキャンパスに描けばいいんだ」と悟り、その後は順調。旺盛に描き続けている。

風景を中心とした坂本さんの絵は、一点一点印象が違う。「絵なんてね、好きなように描けばいいんですよ……えつ、才能？それを持續できる事が才能じゃないですか」そう言われても、凡人にはなかなかそれが難しい。

フランスから眺めると、政治にしろ何にしろ日本は大層変わった国に映るそうだ。その日本へは個展のたびに帰ってくる。今回は91年12月、東京、神戸での個展が決定している。

インタヴューが終わるや、会場にいた女性グループに、一緒に写真に入って下さいと頼まれていた。ダンディーな46才。神戸生まれ、現在パリ在住。

（ダイヤモンドギャラリーにて）





□ポート・アイランダーズ

レトロと呼ばないで 黒島健司

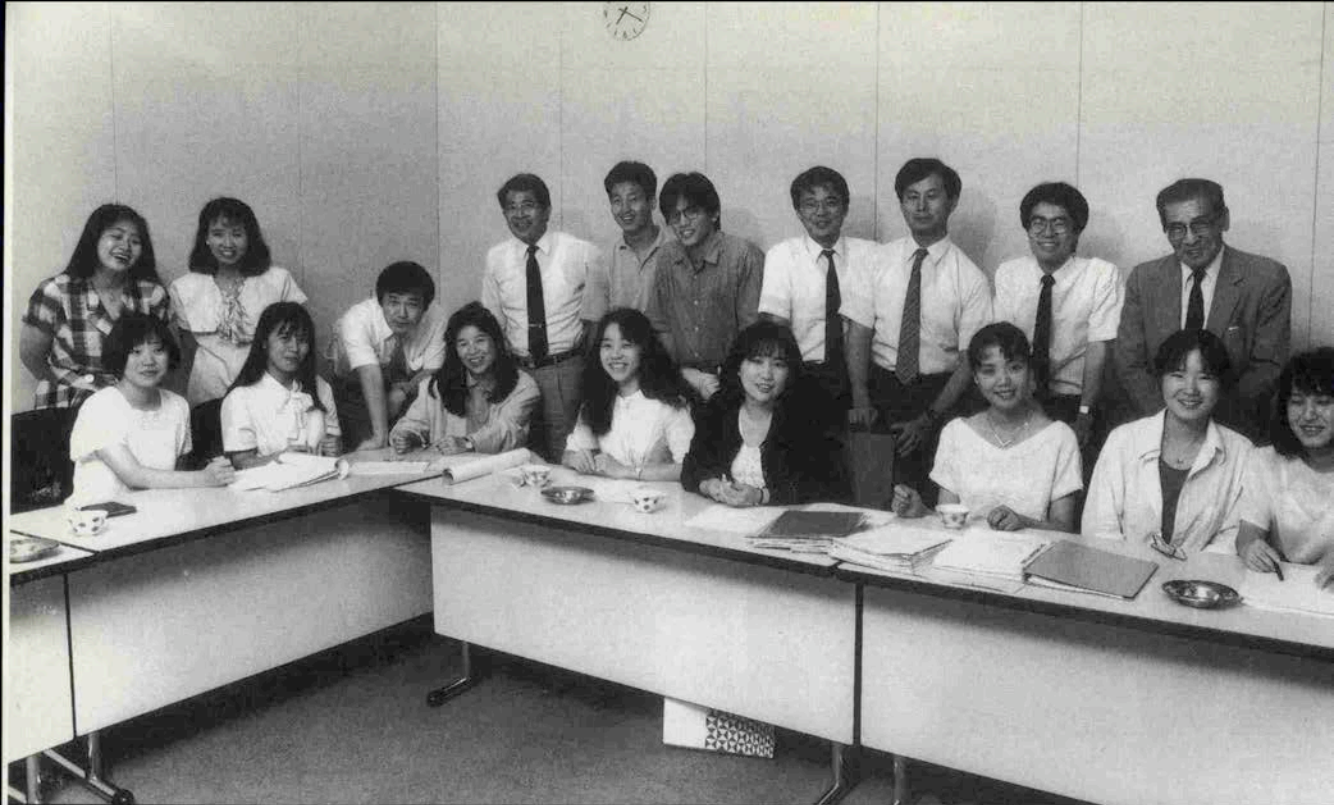
(神戸ハワイアン愛好会)

先日、始めてのコンサートを神戸のかんしんホールで行い、超満員のギャラリィを前に、二時間たっぷり楽しんで頂いたポートアイランダーズ。

ポートピア'81の年に気の合った仲間達で結成してから九年目の快挙であった。

人はハワイアンをレトロブームの産物と言うが、そうだろうか。

たしかに会場には二十数年前の青春に思いをはせている夫婦もいたが、半数以上の方は若い人達であった。彼女達は昭和三十年代のハワイアンブームはもちろん知らない。そういえば神戸にもフラダンスのスクールが二、三カ所で開催されている。エアロビクスの波間を縫って静かなブームを興し始め



ある集い □ 神戸南RVC-Rotary Volunteer Corps

留学生とRVCの仲間 堀川栄俊 (RVCリーダー)

国際都市神戸は、世界各国から多くの留学生を迎えています。RVCと留学生との交流活動は、神戸の市ヶ原にハイキングに出かけたり、甲賀忍術村と信楽焼の里を訪れたバスツアー、船から見た神戸港めぐり、など数多くの楽しい思い出があります。

RVCとは、ロータリー・ボランティア・コープスの略で神戸南ロータリーの呼びかけで、一九八七年三月に結成されました。メンバーは、神戸の各企業に勤務するヤングビジネススマンやOL、神戸大、神戸女学院、関学大等の大学生など、三十数名で構成され毎月第二月曜日の夜例会を開き、活動方針や、プログラムの作成等、細かい打合せや反省をして居ります。

本年の活動予定は、アセアンスポーツフェスティバルの後援とハイキング、バス旅行、企業訪問等計画しております。現在行われている留学生による韓国語、中国語の母国講座も、三回目を迎えました。本年は留学生の生活必需品、入手困難なものを、神戸南ロータリーのメンバーの協力により、又一般の方々にも呼びかけ、留学生へのリサイクルプレゼントとして企画中です。

故郷を遠く離れ、勉学に励んでいる留学生達が、神戸の良き思い出を持って帰国できればと思います。力ながら、我々RVCは活動しています。

■連絡先

神戸市中央区小野柄通8-1-18
 ところ神戸店長室 井戸淳子
 TEL (078) 222-18000
 (写真は、7月10日国際交流会館にて)

△ '89 K.F.M. △

Fashion Show No.6

ハイカラKOBE NOW

WFF89

参加しています。

神戸の6人のモデルが



この秋に贈るKOBE エッセンス



市野本江充子
(市野本江充子)



丹野最世子
(丹野最世子)



大西節子
(大西節子)



長井弘子
(長井弘子)



藤本ハルミ
(藤本ハルミ)



前川富紀子
(前川富紀子)

とき

1989年10月4日<水曜日>

ところ

神戸ポートピアホテル1F 偕楽の間

ポートライナー市民広場駅前 ☎078-302-1111 大代表(駐車場有)

チケット

昼の部 P.M.3:00 ¥3,000

夜の部 P.M.6:30 ¥15,000 <ディナーショー>

パール 大月真珠 / 木下真珠 / 田崎真珠 / 森真珠 / ミキモト / 山勝真珠

後援 神戸市・兵庫県・神戸商工会議所・神戸新聞社・サンテレビ・日刊神戸子

K.F.M.事務局 〒650神戸市中央区山本通2丁目7-7・クチュールマーグレット内 藤本ハルミ ☎078(2)215690



フォーラムは、山崎正和阪大教授（右）と堀場雅夫堀場製作所会長（左）とのユニークな基調対話が始まった。新日本人への提言として7つの分科会が開かれた。

神戸JCサマーフォーラム IN KOBE開催

●コウベスナッフ

北野のコア(核)となる 観光案内所オープン。

毎年恒例となっている「サマーフォーラムIN KOBE」(神戸青年会議所主催)が7月7日、ポートアイランドの神戸国際会議場で開かれた。

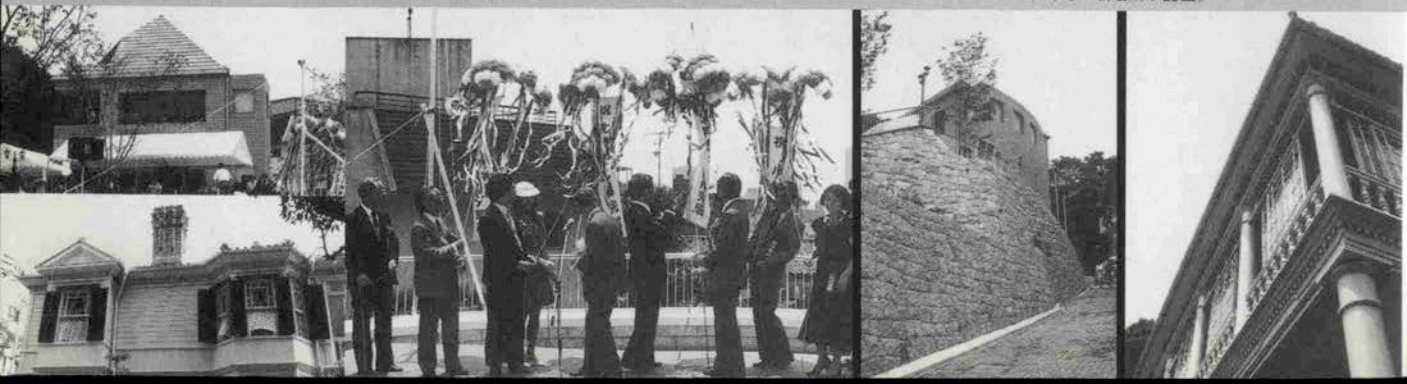
今回は、「新日本人への提言」—ジャパニーズウェイオブ ライフの模索—をメインテーマに、地球新時代における優れた調和能力と、平衡感覚溢れる“新・日本人”の生き方を経済・文化など各界から探った。

北野町で建設が進められていた「北野観光案内所」、
「北野町広場」、また、復元修理が行なわれていた「小林
家住宅(旧白い異人館)」が完成し、去る7月20日(木)、
オープニングセレモニーが盛大に開かれた。

緑と川のせせらぎのある北野界わいのオアシスとして、
訪れる人々にくつろぎとやすらぎを感じさせてくれるス
ペースの誕生となった。

▼完成した北野観光案内所と小林家住宅(旧白い異人館)。オープニングセレモニーの様子。

北野町に新名所が誕生。



新しきクリエーター

美の小箱

松井紫朗

文・乾 由明 〈美術評論家〉

松井紫朗は、奈良の赤膚焼窯元の家に生まれている。父が陶芸家であった上に、周囲には大工、左官、建具屋、指物師などの職人が仕事をしてきたから、子供のときから自然に手を動かして、ものをつくるのが好きだったという。

そのためであろうか、松井の彫刻には、どこか職人の手仕事にふうじるような性格がある。たとえば、フォルム。この作家のフォルムには、上が開いた朝顔型とか、入道雲のような不定形なヴォリュームとか、お椀のようなかたちとか、いくつかの型——つまり類型——があるが、同じタイプのフォルムでもひとつとして同一のものではなく、細部が微妙に異っている。またたとえば異質な素材の接合。松井の作品は、すべて真鍮と大理石、ブロンズと木といったまったく異なる素材の結合によって、成り立っているが、それぞれの素材は自己の固有性を主張しながら、しかもごく自然に相互に結びついている。それらの接合が、きわめて巧みにおこなわれているからである。

このように全体としていくつかのフォルムの型があり、その型の内部であくまで部分や細部にこだわること——これが職人の手仕事につながる松井の彫刻の大きな特質である。そしてまたこれが、西欧の合理的な近代彫刻が捨て去ってかえりみようとしなかつたものであった。

だがそうとはいっても松井の仕事は、職人の手技の巧妙さ、フランス語でいうところのヴィルトゥオジテ (virtuosité) とは、何の関係もない。それどころかその作品は、つねに堅固な存在感に溢れ、骨が太い。それはこの作家が、細部にこだわりのつつも、あくまで作品全体の構造を制作の根底に見据えているからである。あるいは素材のさまざま物質性に執着しながらも、その全体としての相互の関係を、瞬時といえども視野から失っていないからである。この細部から全体へ、そして全体から細部へという絶えまない精神の往還運動が、結局のところ、松井の彫刻の豊かで充実した魅力をつくり出しているのかもしれない。そしてそれはまた作品を見るわれわれの内部にも、彫刻でありながらしなやかな彫刻を超えた何物かに向かい合っているような、激しい精神の振動をよび起さずにはおかないのである。



“TREE-O” 1989年
松井 紫朗



- 1960年 奈良県天理市に生まれる
1984年 京都市立芸術大学卒業 同大学専攻科入学
1986年 京都市立芸術大学大学院修了
〔個展・グループ展〕
1985年 「アート・ナウ'85」(兵庫県立近代美術館)
1987年 村松画廊(東京)・信濃橋画廊(大阪)
「土と炎展」(岐阜県立近代美術館)
「今日の立体展」(山口県立近代美術館)
1988年 「橘昭信・松井紫朗展」(ギャラリーラ・ポラール大阪)
BIO-STRUCTION(ギャラリーTAKA京都)
1989年 ギャラリー16(京都)・モリーギャラリー(大阪)
現在所 〒632 奈良県天理市長柄町692-2
☎07436-7-1273